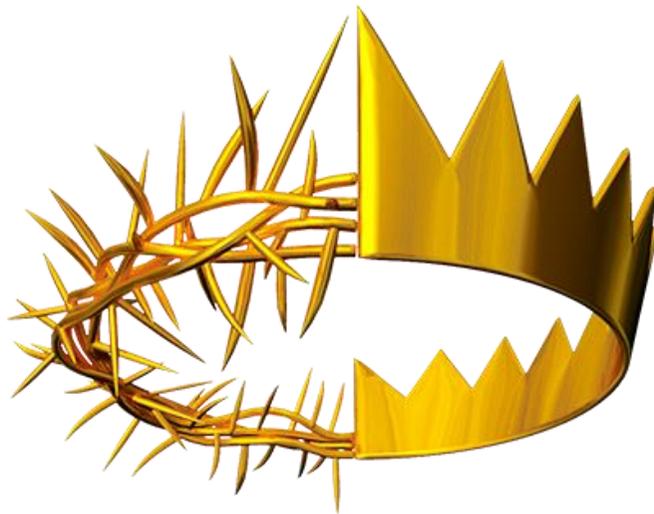


2022年 第4期 献金の勧め



セブンスデー・アドベンチスト教団
スチュワードシップ部

10月1日 再臨を早める

聖書は、再臨を全世界での福音宣教とむすびつけています。神は、すべての人が悔い改めるよう願っておられます。私たちが神の使命を受け止め、それを行うことによって、人々は福音を聞き、受け入れることが可能になります。エレン・ホワイトは、「世に福音を伝えることによって、主の再臨を早めることが、われわれの力のできる。われわれは神の日の到来を待っているだけでなく、これを早めるのである」と述べています。

丘のてっぺんから小型のそりを滑らせれば、やがて丘のふもとに降りてきます。これは、重力と垂直抗力の結果として自然な出来事です。しかし、雪遊びの好きな子どもたちは、丘を降るときに、そりのスピードを速めることができるのを知っています。そりの裏に油を塗ること、坂道の雪を固めること、そりの上で低い姿勢を保つことなどです。その結果、より速く、より楽しくなります。

同じように、イエスの再臨は確実な出来事であり、私たちが人々に福音を宣べ伝えることによって、それは早められるのです。

今週、私たちが什一と定期的にささげる統合約束献金によって礼拝する時、私たちが再臨をどれほど切望しているのかを示すことができます。

10月8日 世界宣教のために

セブンスデー・アドベンチスト教会は、その宣教活動によって世界中に知られています。あなたが定期的、計画的に献げる統合約束献金は、世界中に行き渡って生命を与える川のように、宣教地に新鮮な水を運びます。

私たちは自分たちの教会のためだけでなく、知らない場所にある教会の宣教を助けることができます。私たちが一度も会うこともない宣教師、一度も行くことのない学校や診療所を助け、私たちがそこで一度も礼拝することのない教会の開拓伝道を助けています。そのようにして、世界中の人々にイエスの愛を紹介することによって、教会の宣教活動に命を与えているのです。

新型コロナウイルス感染症が流行する以前にも、アドベンチスト教会の世界宣教のための献金は大幅に減少していたことをご存知でしょうか。その理由の一つは、しばしば私たちは、自分が心動かされるような特定のプロジェクトのためにささげることが望むからなのです。統合約束献金をささげるとは、よく宣伝された特定のプロジェクトやプログラムのように、魅力的には感じないかもしれません。しかし、統合約束献金は、すべての宣教プロジェクトを支える助けとなるのです。

10月15日 残ったもので生活する

旧約聖書には、経済的に苦しんでいた女性が、預言者によって、部屋中に置かれた器にいっぱいのお油を与えられ、それを売って負債を返済したという奇跡が書かれています。預言者は女性に、「負債を返した後、残ったもので生活しなさい」と言いました。この言葉は、神の備えが十分であること、将来について恐れる必要がないこと、また借金に頼って生きないように、と教えています。神は奇跡を起こすだけでなく、私たちが受けた祝福をいかに使うべきか、ということも教えてください。

「残ったもので生活する」という教えは、今日の私たちにもとても有効です。私たちの世代の多くの方は個人経済の管理に失敗しており、悲惨な結果をもたらしています。熱心な思いをもっている信徒が、しばしば経済的に破綻しているために、神の働きに参加できないこともあるのです。

私たちが、いつも神の祝福を求めるように、自分の財産を管理することにも熱心でありたいと思います。神が祝福してくださらないからではなく、自制心と良い管理が不足しているために私たちは苦労しているのかもしれませんが、今週、什一と統合約束献金をもって礼拝する時、神の財産の良い管理者となることを約束しましょう。

10月22日 喜んでささげる秘訣

私たちが神に仕え、従い、礼拝する時の態度は重要です。愛の欠けた従順は、神の目には価値がありません。逆に、愛から従順が溢れ出る時、「あなたがたの喜びが満たされる」とイエスは約束しておられます。

毎月給料日になると、妻と息子たちに必要な物を何でも買い与えている男性がいました。ある時、息子が父親に「お父さん、どうして、僕たちのために、こんなにしてくれるの」と尋ねました。すると父親は「私は法的にお前たちのお母さんと結婚した。お前たちは、お父さんの扶養家族だ。お前たちを養うことは、私の責任だ」と答えました。しかしそれは、息子が期待していた答えではありませんでした。

なぜ、私たちは神にささげ物をするのでしょうか。使徒パウロは「各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです」と書いています。

私たちを、ささげ物による礼拝に駆り立ててくださるよう、日々、神が与えてくださる愛について瞑想しましょう。今週、什一と統合約束献金をもって礼拝することによって、神の偉大な愛に応えることができますように。

10月29日 総合的な宣教を支援する

ある日、イエスは集まってくる群衆への同情の思いに満たされ、一日中、彼らに教え、祝福し、病を癒やされました。陽が傾いてきた時、自分たちで食べ物を探させるため群衆を解散するよう、弟子たちはイエスに提案しました。しかし、イエスは弟子たちに「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい」と言われました。

マダガスカルに住むエミリエンヌは常にしかめっ面をしていました。彼女は、いつもお腹を空かせている子供を持つシングルマザーで、子どもたちを学校に行かせるお金もなかったからです。あるとき彼女は、ADRA の食糧安全プロジェクトに参加することになりました。そこで彼女は、訓練を受け、農具を手に入れ、干ばつに強い種を受け取りました。それから、彼女は畑を作り始め、モロコシ、サツマイモ、キャッサバ、カボチャを植えました。今では彼女は、家族の食事や衣服を買い、子供たちを学校に行かせ、将来のための貯金もできるようになり、何よりも笑顔になりました。

ささげるとは、人々の苦しみを和らげ、神の愛を表し、希望を取り戻すために、神がお与えになった方法です。今週、私たちは什一と統合約束献金をもって礼拝することによって、キリストの働きを実践することができます。

11月5日 誰が神より多く与えることができるでしょうか

私たちが気前よくささげるとしたら、それは神の気前よさに感化されたからです。神殿建設を準備するにあたって、まずダビデ王が惜しみなく個人の財産からささげることが聖書に書かれています。他のリーダーたちも王の模範に従って喜んでささげました。人々も「全き心をもって自ら進んで主にささげ」ました。ダビデは「すべてはあなたからいただいたもの、わたしたちは御手から受け取って、差し出したにすぎません」と歌っています。誰も神より多く与えることなどできません。

マサイ族のアブラハムという男性は、1000頭の牛と、羊と山羊の群れを所有していました。祝福の源は神であることを認め、彼は神に忠実であろうと決心しました。牛を大きな囲いの中に入れるとき、彼は10頭ごとに雌牛にしるしをつけ、神への什一としました。彼らの文化では、人々の富は牛の数で計られます。人々は彼をあざ笑い、多くの者は「彼は気が狂った」と言いました。しかし9か月後、アブラハムの雌牛のうち40頭が双子を産み、多くの山羊や羊が三つ子を産んだ時、あざ笑う声は消えました。

今週、私たちは什一と統合約束献金をもって礼拝する時、自分の生活の中で神への誠実さをあらわしましょう。

11月12日 貯金によって救われる

私たちは、節約と貯金についての神の教えに従う時、自分の財産をもって礼拝することができます。神はヨセフに、7年間の豊作の時にすべてを消費せず、20%をのちのために貯えることをファラオに助言するよう教えました。

節約を促すメッセージは、今の時代にも適切です。私たちは、毎日必用な量よりも多くを食べ、必要以上の衣服を買い、必要以上に広い家を建てています。それは、社会的には正しいのかもしれませんが、良い管理者であるといえるでしょうか。

貯金は、人生の緊急事態に備えるため、経済的な目標を確認するため、引退後のために備えるため、遺産を残すため、また人生を楽しむための助けとなります。それだけでなく、私たちが神の働きに加わるために役立ちます。イエスと彼の宣教チームは、女性サポーターたちが持参したのものによって支えられていました。初代教会の信徒たちは、クリスチャンの宣教を支援するために、自分たちの所有物を売りました。

私たちの経済生活の無駄を確認して改善する時がきていませんか。今週、什一と統合約束献金をささげるとき、私たちが貯えたものをもって礼拝する機会が与えられています。

11月19日 献金は大声で語る

私たちの神へのささげものは、言葉によらない説教です。人々の自由意志のささげものによって聖所が建てられた後、聖なる働きのためにアロンと彼の息子たちが聖別されました。イスラエルの最初の祭司たちの按手礼において、モーセは特別な説教を語りませんでした。代わりに、罪を贖うささげもの、焼き尽くすささげもの、そして、揺祭などあらゆる種類の犠牲がささげられました。

献金によって神を礼拝することの意義について疑問を持っていますか。もし、教会がその働きを支えるために十分な資金をすでに持っているなら、礼拝の要素として献金を続ける必要はあるのでしょうか。献金は経済的な意味よりずっと大きな価値があります。献金は言葉によらない説教です。それは礼拝の行為であり、本質的な霊的教訓を伝えます。特に、それは、神の救いの贈り物、日々の祝福、完全な献身という適切な応答を私たちに思い起こさせます。献金をささげることをやめて、神の声を消してしまうことは賢明ではありません。今週、私たちは什一と統合約束献金をもって礼拝する時、神の声によく耳を傾けましょう。

11月26日 リバイバルの時

ヒゼキヤ王の時代に神殿が修復され、礼拝が回復されました。過ぎ越しの祭りが、再び祝われ、レビ人たちが奉仕に復帰しました。真の礼拝の回復が、真のリバイバルの中心でした。

リバイバルへの召しに対する人々の応答は、具体的な要素を含んでいました。霊的なリバイバルは、神を主と認めることであり、具体的には贈り物によって神を称えることです。

ザアカイの物語は、真のリバイバルの結果としてささげものを行うことを示しています。イエスを主賓として迎える前、ザアカイはエリコで最も貪欲な男性でした。彼は国を裏切り、友を失い、宗教を捨て、自分の評判を犠牲にしても、少しでも利益を得ようとしていました。しかし、救いが彼の家に訪れた時、彼は返すべき額より多くささげるよう促されました。それは、イエスから受けた愛に対する、彼の愛の応答でした。私たちは愛がなくても与えることはできますが、与えることなしに愛することはできません。私たちの教会で、霊的リバイバルへの呼びかけが、大声で叫ばれています。今週、什一と統合約束献金をもって礼拝する時、リバイバルのメッセージが私たちの心に根付いていることを示すことができるでしょうか。

12月3日 信頼に関すること

レビ記 25 章には「六年の間は畑に種を蒔き、ぶどう畑の手入れをし、収穫することができるが、七年目には全き安息を土地に与えねばならない」と書かれています。今では、農学の知識によって、土地を休ませることの意義を理解できるようになりましたが、当時、このような指示を受けたイスラエルの人々は、七年目に植えることも収穫することもしなければ何を食べればよいのだろうか、と思ったことでしょう。これは、信頼への招きでした。

ある時、牧師が長老を伴って、教会の貧しい家庭を訪問しました。喜んで家に迎えられ、楽しく交わりの時間を過ごしましたが、そこで牧師はマラキ書 3 章を読み、忠実に献金をささげるようその家族を励ましました。訪問を終えた帰り道、長老は牧師に、その家庭が経済的に苦しい状況を考えて、牧師の話について違和感を覚えた、と言いました。牧師は優しく、しかしキツパリと応えました。「私は彼らが、神の祝福を逃さないようにしたかったのです」。

あなたは神の教えに納得がいかない状況を経験したことがありますか。そんな時には「信じて主に頼れば、幸せな日々生きてゆける」(『希望の讃美歌』329 番)という讃美歌の歌詞を思い出しましょう。

12月10日 世界宣教資金

もし、誰かの人生に突然大きな変化をもたらすチャンスが一度だけあるとしたら、あなたはそれを行いますか、それとも見送りますか。セブンスデー・アドベンチスト教会に危機が訪れた時、私たちは軽快に、また機敏に対応する必要があります。そうすることによって、私たちは困難を新しいチャンスに変え、世界中において神の働きの効果を高めることができます。

希少な機会は、毎日起こるわけではありませんが、それが起こった時には、神の教会は迅速に対応する必要があります。統合約束献金の定められた割合は世界総会に送られ、その一部は世界総会が緊急のプロジェクトが必要になった時に、迅速に応答できるようにするための特別な基金として用いられます。

ですから、今このチャンスを逃さず、つかみましょ。気前よくささげることによって、福音の働きを加速させましょ。什一と共に、定期的に統合約束献金をささげるとき、あなたのささげものによって、セブンスデー・アドベンチスト教会は世界中の神の働きの効果を高める新しい機会に機敏に応答することができるのです。

12月17日 見ないで与える姿勢

神がお与えになる時、それを受ける者の性質や、その結果にはほとんど注目されません。それに対して、私たちは、目に見えるもの、自分で結果をコントロールできるものだけに与える傾向があります。その結果、ある人は自分がささげたものの直接的な効果を見ることができないことを理由に、什一や統合献金をささげることがやめてしまいます。また、自分の目から遠く離れた世界的な働きではなく、地元のプロジェクトだけを支えようと決める人もいます。これは「見ないで与える」神の姿勢ではありません。

「アマゾンの希望」という、水上教会についてご存知でしょうか。2016年、世界中でささげられた13回献金のプロジェクトの一つとして実現したのが、ブラジルの水上教会「アマゾンの希望」でした。この舟の教会の働きが始まって最初の一年間で286名がバプテスマを受け、2017年には三つの新しい教会が建てられたのです。この舟の教会は、政治や経済、医療制度から見捨てられた人々を救う神の方法となりました。

私たちが什一と共に、定期的に統合約束献金をささげて礼拝する時、私たちの神と同じ世界的なものを見方をしていることを示すことになるのです。

12月24日 平和を育てる

私たちは、心の中に神の平和を育むために、財産をささげて神を礼拝します。イエスはご自分の弟子たちが平和を必要としていることをご存知です。ヘブル語で「シャローム」という平和は、完全性、一体性、そして、充足性ということの意味します。私たちは、通常平和への渇きをいやすために、イエスかこの世かの二つのうちどちらかを求めます。

この世は、私たちが完全性と充足性を、物質を求めることによって得るよう促します。しかし、物質を所有することは、私たちの不安感、無力感、無意味感に対する真の解決法ではありません。哲学者ソクラテスは、アテネの豊かさあふれる市場を歩きながら叫びました。「これらの物がなくてもほとんどのことができることを、誰が分かっているだろう」。

より多くを求めることとは対照的に、聖書は、信者が平和のうちに成長するため、満足の気持ちを持つよう強く勧めています。クリスチャンは、全能の愛する神が、物質的にも霊的にも私たちの必要を満たしてくださっていることを認める時に、満足の気持ちを手にすることができます。ささげることによって満足できるということは、素晴らしいことです。

12月31日 実を結ぶ

私たちは実を結ぶようにという召しに対する応答として、献金をささげて神を礼拝します。

バプテスマのヨハネは、彼のもとにバプテスマを受けようとして来る人々に「悔い改めにふさわしい実を結べ」と訴えました。ルカによる福音書には、バプテスマのヨハネが自分のところに来た人々に教えた「悔い改めの実」の具体的な例をいくつか紹介しています。彼は、徴税人には規定以上のものを取り立てないよう求めました。兵士には「金をゆすり取るな」また、「自分の給料で満足せよ」と戒めました。また彼は群衆に「下着を二枚持っている者は、一枚も持たない者に分けてやれ。食べ物を持っている者も同じようにせよ」と命じました。ルカによって記されているこれらの例には、共通点があります。これらは、金銭や物質的な所有物に対する、私たちの姿勢に関係しています。悔い改めの実は、財産を得るための手段について注意することと、他者を祝福するためにそれを用いることが含まれているのです。

今週、私たちが什一と共に、定期的にささげる統合約束献金をもって礼拝する時、私たちは、悔い改めの実を結ぶことができるのです。